

5) H29の広報活動について


【パネル展の開催】

- ・平成29年度版として新たに広報用パネルを作成（11枚セット）
- ・管内の自治体と連携し、年間計画を策定
- ・開通式などの式典時に道路整備のストック効果等と合わせて展示
- ・庁舎ロビーなど常設が可能な箇所については、年間を通して展示


■道路の老朽化対策の実態

橋梁は 雨水や潮風などにより 腐食が進行


日陰にある鋼材は、太陽が当たらないため、雨水による湿気で錆やすい環境にあります。
特に潮風が当たる場所や湿潤状態が長く続く場合には、急速に錆が進行します。




支承等の腐食



主桁の欠損



地覆部のコンクリート剥離



主桁の腐食


徳島県道路メンテナンス会議

■道路の老朽化対策の実態(点検)

重大な損傷を未然に防ぐため 定期的な点検を実施


重大な損傷を未然に防ぎ、構造物を健全な状態に保つためには、定期的な点検が必要です。
道路を管理する、国、県、市町村、高速道路会社では、それぞれが管理する構造物について、5年に1度の点検を行うことが法律で義務づけられています。

【自治体職員による橋梁点検状況】



自治体職員による点検状況

点検箇所（板野郡藍住町）
町道矢上珍成線 矢上原2号橋



自治体職員による点検状況

点検箇所（海部郡美波町）
町道西谷線 西谷1号橋

徳島県道路メンテナンス会議

■道路の老朽化を防ぐ取り組み(維持管理)

適切な維持管理により 今も現役の長寿橋（89歳）

主要地方道徳島鳴門線の吉野川橋（徳島市）は、1928年に架設されました。
吉野川橋は、適切な維持管理を繰り返し行っており、89年経った今でも徳島県の主要幹線道路の橋として「現役」で利用されています。
また、眉山を背に吉野川に映る橋の姿は県民に広く親しまれており、最近では夏の花火に浮かぶ橋の姿も、夏の風物詩として人気を集めています。



【大坂鉄工所 吉野川橋記念写真帳より】
開通式の状況



橋梁補修状況



現在の状況



夏の風物詩

徳島県道路メンテナンス会議

展示パネル（一例）